



蓬田村連婦役員研修会

「統一地方選挙に、特定の候補者のため、各部落婦人会は、応援に歩かないことを決議す」

蓬田村連合婦人会（会長坂本清江）では、去る一月十日蓬田村役場会議室において役員研修会を開

急激な社会構造の変化にわた

し達は一時たりとも目を離すことができないと思ひます。わたくしはまだまだ浅いのですが教育関係に直接たづさわることになって特に感じたことは「環境」という事であります。人的環境と物的環境に一人一人がやさしい心の目をそそぐことによって地域社会の健全な環境造りが形成され幸福ははぐくまれるものと思ひます。

一、教育活動の充実

1 児童生徒指導の充実をはかるとともに新教育課程実施体制の確立を期しなければなり

いた。会員約五〇名参席、講師県社教主事杉沢先生を招き正しい家庭の

- 2 学校教育の現代化をはかるとともに管理運営の適正化をはからなければなりません。
- 3 生涯教育をめざす社会教育の研修活動を強化しなければなりません。

心の目

一、体力づくりの強化

- 1 学校保健安全教育の徹底を期しなければなりません。
- 2 社会教育指導組織の確立強化をはかるとともに指導者の養成を期しなければなりません。
- 3 社会体育施設の充実をはか

（教育長 田中一雄）

蓬田村公民館報
【蓬門】第77号
発行所 青森県東津軽郡蓬田村公民館
印刷所 第一印刷

＜世帯と人口＞

世帯数	1,006
人口	男 2,523
	女 2,661
計	5,184
(45.12.31現在)	

「蓬門」原稿募集
「蓬門」の原稿を募集いたします。どんな事でもよいです。原稿を送つて下さい。
原稿送付先
蓬田村教育委員会



熱心に研修する婦人会員

あり方について有意義な講演があり、提案事項として張間きよ（副会長）より現在まで統一地方選挙には特定の候補者のため各部落婦人会員はそれぞれ部落を廻り選挙運動の応援に歩いてきたが、今年からは婦人会の在り方、組織面において不都合があるようですからやめることを皆さんで決議し、会員に徹底せしめたいと思ひます、ので皆さんにおはかり致します、と提案理由の説明をし、全員一致で決議し、今後の婦人会活動に新らなければなりません。

一、教育環境の造成

- 1 教育施設設備の整備をはかるとともに教職員の充実をはからなければなりません。
- 2 社会教育の指導体制の整備をはからなければなりません。
- 3 学校教育と社会教育の一体化を推進しなければなりません。
- 4 行政運営の調和をはからなければなりません。

風を吹き入れたことは注目に値し、すると高く評価されておる。研修会を終え会場を蓬田村公民館に移動し、レクレーションに入り盛会裡に終った。

羨ましい国道

蟹田地区交通安全協会

蓬田支部長 坂本増吉

私は二十一年三月台湾からやせて本土和歌山の田辺港に久し振りに土をふみ、二日後には雪の降る青森駅へつき、焼け野ヶ原を見渡す心は淋しかった。

当時蓬田村には自動車らしい物が見当らなかつたが、次の年農協が運送トラックを取得し、商人が自家用車を持ち今では一般百姓業も乗用車を持つような世の中となりました。

日本帝国は過去に於いて、台湾統治五十年間に投資した国造りは「イザ鎌倉」を予測し、ばぐ大に費やした事と思われる。二十年、私の所属する陸軍雷撃隊は海軍の協力を得て「ボルネオ」のパリックババン、比島のタラワン島等の機動艦隊を雷撃、大戦果を収めましたが、我が方二ヶ中隊長以下四十八名と六機を一挙に失い、シンガポールチャンギー飛行場に翼を休めていた頃、本土大本営では、秘かに沖繩脱還作戦に使用すべく新鋭勇敢な我が六十一戦隊を選

び、夜間行動ばかりで急拠台湾の中央嘉義に呼び寄せられた。

六月十六日、最後の「ゴース」香港の山の陰の飛行場から夜の一時離陸し、嘉義到着翌一時二十分、私は二十六機中三番機だった。直ちに飛行場からそ開地上隊の誘導トラックに引きづられ、二十五Kも遠い「サントウ」と云う一村落の大マンゴー樹の木陰に定

着したのは夜明け前だった。直線の舗装道路、その日午前八時各所に分散した隊員百五十六名トラックから下車し数個並んだ格納庫前に集合、部隊長の令下に入る。そこで私の驚いた事は、のちの作戦よりも飛行場及び嘉義市を中心に巾十米以上の四方に延びる国道だった。戦争前までは緑りしたたる両側の並木も、直経三十三センチ位の根元からおし気なく切り倒されている。翼の長さ二十三米の雷撃機のけんいんは勿論、次々と戦斗機を離陸出来た事でした。さらに民間では何「ールもの砂糖

キビ畑には製練工場を中心に簡易鉄道を走らせている。前書きが余り長くなりましたが、我が国道二百八十号線も、せめて四十年前の台湾国道の三分の一でもよい国道になれば事故はかくなり減る事と思われる。

さて昨年蟹田地区管内交通事故件数は八十六件、負傷九十五名、死亡八名と一昨年からかなり高くなっていますが、蓬田管内では二十六件、負傷〇、死亡中沢の三名と少くなつて、みなさんのご協力の賜と思っていますが、但し悲惨な目をおうような事故、又奥内で起きた我が若い命を失った事は誠に痛々しい。

私達安協の役員、指導隊は村交通安全協議会に協力し、昨年春、母の会を結成、又指導隊も五名から九名に増加し、四季に行う運動外にも出てそれぞれ自分の業務時間をさき、一丸となつて見回りを続けて参りました。

道路の改修促進はもとより歩行者に法令指導、若い運転者には追い越されても「何クソ」と云う反射気持をつつしんでもらいたい。

ここで又話が外にそれて誠に申し訳けないのですが、南方の飛行場に居た頃、自動車の運転者不足し、現住民の運転者を雇う事があつた。彼等の習性は何時も「ハ

ダシ」だ、整備は主として手の技術運転、技術は目と足に重きをおく、彼等の足は指の根元に「アクセル」加減の神経が集中しているかの如く、扇型に巾広く発達し、然も「アクセル」はじかに足下に接しよくしている事だ。

そしてどんな急坂曲角でも事故がない、突然飛び出す鶏犬をも道路を横断する動物を車輪の下敷にはしなかつた。

私は文化国日本の今日、交通戦争のむじゆんを少くするため、今の法令を改正し自動車運転時運転者は「ハダシ」で行う事、さすれば「ぐん」と交通事故も減るんではなからうかと思はば考いてみます。

幸い今年に入つてまだ浅いが一月二十日現在、蓬田管内の事故は軽い接しよく三件との事、昨年秋季には幼児飛び出し防止棒を蟹田営林署から払い下げ、不完全乍ら役立たせ、今年は更によき「アイデア」をつくるよう村対策協議会に望み、各種団体一つとなり不幸によるみじめな家庭を事前に救ひ、一件でも少くなるようこの職にある者が願う次第でございます。

昭和46年 新役員決まる

昭和46年蓬田村青年団体連絡協議会の役員が左記のとおり決定いたしました。

今年は一「各単位団体の活動強化とリーダー育成」を基本方針に

- 一、リーダー研修への積極的参加
- 二、郷土発展に伴なう事業
- 三、事業を単位団体による主管制とする。

を三本の柱として、より充実した青年団活動を行う為に全員ハリキっておりますので、どうぞよろしくご協力をお願いします。

- 会 長 八幡敏雄
- 副会長 久慈正明、藤本愛子
- 会 計 森 清秀
- 体育担当 工藤三男
- 文化担当 藤本治郎吉
- 情宣担当 青木倉元、坂本ふみ子
- 女子活動 稲葉百合子、清水せつ、松本鈴子

- 書記 大宮正志
- 監 事 藤田修一、森 秀雄
- 事務局長 越田 守
- 次長 吉田常逸

蓬田村出稼組合総会行なう

去る一月九日、玉松公民館において総会を行なった。事業計画、役員は次のとおりです。

監 事 八幡重五郎(高根)
福井 蔵治(郷 沢)
木村 勝正(蓬 田)
加賀美勝男(阿弥陀川)

理事

一、会員増強
二、事故防止の徹底
三、留守家族の援護

役員
組合長 田中 勇三(瀬辺地)
副組合長 佐井勇太郎(広 瀬)
赤坂勝三郎(中 沢)
三浦 辰海(長 科)
八幡 政秀(広 瀬)
稲葉幸次郎(高 根)

鳴海 秀秋(中 沢)
福島 光雄(長 科)
森 藤代(阿弥陀川)
小松 善春(蓬 田)
工藤 義正(郷 沢)
田中 鉄男(瀬辺地)
八幡 政秀(広 瀬)
稲葉幸次郎(高 根)

出稼に行かれる皆さんへ

- 一、いつでも正しい手続きで
- 二、にっこり笑顔で健康診断を受け
- 三、さあ、みんなとそろって出発
- 四、仕事にはいつも気をくばり
- 五、子供は元気かと手紙かき
- 六、自分の行く事業所のある安定所と労働基準監督署の名前と所在地電話番号を聞いておくように
- 七、現場のきまりとか注意をよく守るように
- 八、働く現場が危ないと思ったらそのことを現場の責任者に云ってなおしてもらるか、やめてもらうように
- 九、働いた場合は手帳か何かにつどこでどんな仕事をしたか書いておくように
- 十、働く場所、事業所をかえた時は必ず新しい居所を家族と現場に知らせるように
- 十一、何か起きた時に
- 十二、もしけがとか事故がおきたら事業所の責任者に労災保険の手続き又は証明書を書いてもらう
- 十三、そのことをなるべく早く県外事務所とその事業所のある監督署に知らせるように
- 十四、いろいろの補償の請求書は働いているところの監督署へ
- 十五、けがなどで入院している場合は、もし病院をかえる時は自分の働いた事業所の責任者に証明書を書いてもらうように
- 十六、自分がいつ頃仕事をやめて帰るか現場の責任者に知らせておく
- 十七、自分のいた間のお金などの貸し借りの始末をつけるように
- 十八、賃金の未払いがある場合は出稼手帳の中に書いてもらうか、未払の内わけを事業所の責任者に書いてもらって事業所のあるところの監督署に知らせておくように
- 十九、未払いの分をあとで送ると云った場合でもそのことを監督署に知らせておくようにして下さぬ

集団電話についてお願い

お申込みの地域集団自動電話の工事を去る十一月からはじめて参りましたが、降雪が予想より早かったため工事予定を変更せざるを得ないものと考えられます。つきましては、電話機の取り付けと室内配線作業に係員がお宅に

蟹田電報電話局

中沢部落婦人会研修会

一月十二日中沢公民館において中沢婦人会(会長坂本とこ)では蟹田地区農政普及所共催で研修会を開いた。

講師には県社教主事須郷先生を招き将来の日本の人口の問題にふれ、昭和六〇年頃には我が国の人口は老人が三分の一をしめることになる。今の若いおかあさんたちは子供を生まず、全国平均夫婦二人で一・七人の割合しか生まなかつた。それで老後はよいのかどうか考えるとときではないかと問題

点を提起し、更に親子の断絶するような育児の問題点、三才まで母の肌にあふれて育てることの有意義なこと、ふるさとの味、おふくろの味を知らない子供の大人になつたときのわびしいことなど実例を引き二時間にわたり講演され婦人を感動せしめた。

午後は普及所職員を囲み座談会に入り、楽しい家庭の造り方について約二時間にわたり話合を進め有意義に終つた。

「還付申告」と「納税証明」の請求はお早めに

昭和四十五年分の所得税の申告と納税は、二月十六日から三月十三日までです。例年この期間に納税者の皆様が多数来署し、署内が大変ごみ合いますので、税務署では、これを、幾分でも緩和するため税金の還付をうけるための申告については、一月から受付方を早く税金をお還えしするようにつとめていきますから、税金の還付をうけるための申告は早目に提出されるようご協力ください。

また、この時期は業者登録、入札参加などのため、「納税証明書」の請求が最も多い時期にあたります

「納税証明書」の請求は署内の混みあわない二月十五日以前か、四月以降に請求されるようにご協力ください。

